

FOR ADULT ONLY

18X

まるまるフルサイズ



Sinner's souls - Chain of the wedge -

Sinner's souls

Chain of the wedge

何で…お前達…

仲間じゃ
なかったのかよ…



何でそっちにいるんだよ!

青
悪いなマルコ

青

この者といる方が
面白そうなんでな

赤

お前とはずっと
馬が合わなかったんだ

青

俺の目的は
まあこっちなだ…

へへっ上等
魔女が似合わねえ
噂どおりの
かわいこちゃんだ



お前達…

ふふっ…
どいつも…
こいつも…

好きにしろ…
もう 慣れてる…

この身体が
目当てか…

やせ細ったこの身に
どれ程の価値が
あるのやら

す
す

その人に触れるなあ

ケケツ

流石聞きわけが
いいねえ

セ
セ

やめろお



殺さねえ程度にだ
軽く痛めつけて
やんな

チッ

うるせえなあ

OK

くくっ
馬鹿

軽くだ
マルコが死んだら
俺達が消えちまうぜ

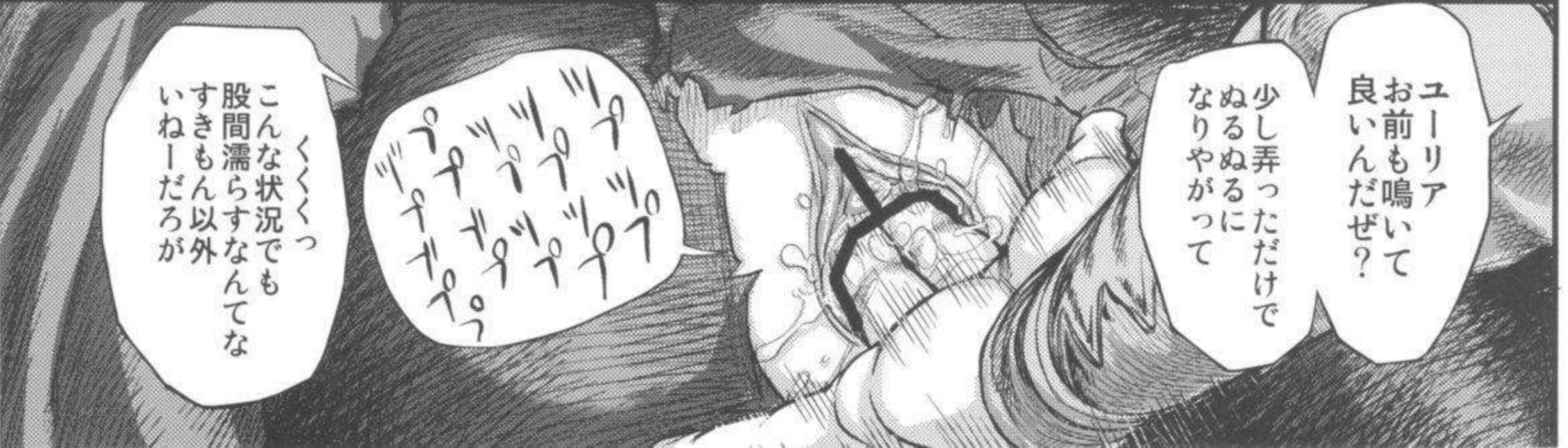


くくく…
男だろが
女だろが
悲鳴は良いねえ



ふう…

う…



ユーリア
お前も鳴いて
良いんだぜ？

少し弄っただけで
ぬるぬるに
なりやがって

くくくっ
こんな状況でも
股間濡らすなんてな
すきもんだろが
いねーだろが

くくくっ
こんな状況でも
股間濡らすなんてな
すきもんだろが
いねーだろが



やっと見つけた
女神なんだ：

Sinner's souls

Chain of the wedge



肉棒は
久しぶりかな？
俺のは好きかな？
味だったかね？

はあ

あう

ズムム

!!

ズムム

もっと喜べよ
ブヨ虫より
ずっと気持ち
いいだろ？

ズムム

一本じゃ
物足りないって
ことかね

なあ
魔女っ子
ちゃん

ズムム



不潔な一物を
綺麗にして
もらった礼だ

ズムム

ケツ穴にプラスで

どうだ？
それでも
駄目か？

ズムム

公使の玩具には
まだ不足かな？

ズムム

グワッ

グワッ

グワッ

もがいて
もらわないと
面白くもない

壊すつもりで
犯っちゃうぞ

グワッ

グワッ



ん

はむ

はむ

ほほほお



ほらこっちも

空いてる口は塞がねえと
もったいないぜ



ふふつ 入らないか
ケツマンコもすぐに
濡れるように
ならないと駄目だぞ



公使のチンポと
俺のじや
どっちが好きだ？



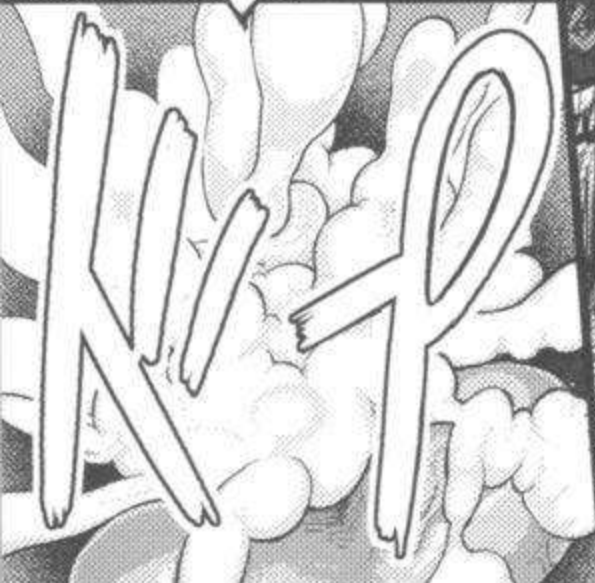
うぐ
あ



むうっ
尻穴は思ったより
キツキツだな
裂けたら後が
つまらないよな？
よく慣らしてやるか

邪魔な布きれだな
お前には不要だろ？

こっちも奥まで
突っ込めネエ
俺のがでかすぎ
んのかな



喉の奥で
俺のザーメン
受けな

沢山
溜め込んで
きたからよお



皆楽しめよ
まともな女は
殆ど残っちゃ
いねえんだから

それに
全然鳴かねえな
こういう女は
喰いがいいが
あるわ

なんだかんだで
具合は良いな
まだまだ
使い込め感が
たらねえ感じた





結局
鳴かねえのな
大した女だぜ

くっくっく...

ゴク
ゴク



ブヨ虫の調教よか
生ぬるいつてか?

ケ
胸糞
悪りい



クク
どうなるかねえ
ワクワクが収まら
ねえよ



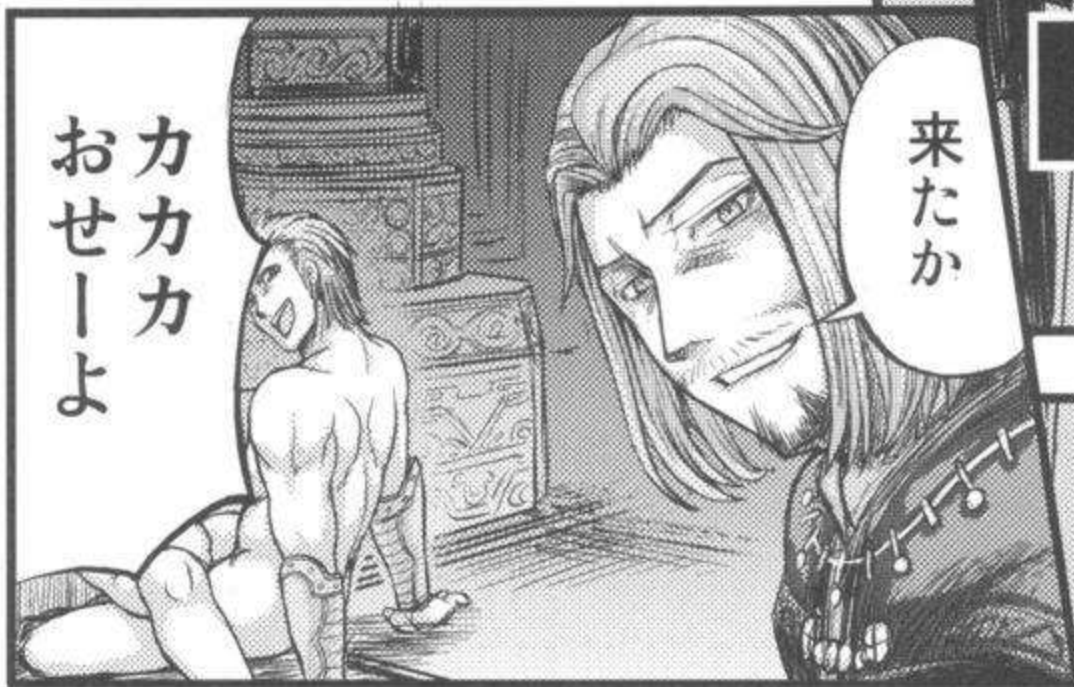
有効利用と
行こうじゃねえの

まあ
数少なえ
女だ



身体が
ガリガリ
過ぎるんだよ
骨が当たって
まず
萎えちまうよ

～楔の神殿～



来たか

カカカ
おせーよ



おいつす

昨日はどーも



アンバサ女

はあ

はあ



またそいつか

具合
いいぜ



こういう信仰の
篤い女は
中毒にしてからだな

んんん
んんん
んんん

なついでからが
本番
面白くなるぜ？



散々使いな
こんだからな

こいつの膺の
緩いストロークと
凹凸がよ
オレと相性が
良いんだ

あ

んんん

んんん

フキウ

んんん

んんん



ソウルに
通貨価値など
ないだろ
腐るほどあるって



こいつはもう
俺のもんだからよ



でそいつ
昨日の?
ああ



下衆共め
吐き気がする

犯りたきや
10万ソウルくらい
頂くぜ?



暇潰しに
飼ってみようと
思ってたな



デーモンを
狩る者は
救世主は
ない
決してない



世界が
破滅に
近づき
その均
衡を
保つた
ための
器が
彼らだ



桁の知れぬ
強さを
なせ突
ここれ
湧いた
幾年も
修行を
才ある
この有
様とは



それはそうと...
今日は別の用で
来たんだが...

あー
めっけ♡



壊している
ではないか...

この者達
秩序その
ものを



俺はなあ
お前に会いに
来たんだぜえー？

おい火防女え
こっち来いよー！！



こいつは
分かるよな？

ほらよ



肥大した
デモンズソウル

キンピカ鴉のだが…



こいつを人の
ソウルと融合させて
みてえんだけど

出来る？



この女と
合体させ
てえの

!?



ほう



おめーは頭がいいよ
分かってんだろ？
くつつけるのさ
あのデブデーモンと
お前の魂をな

審判者を
知ってるか？
金をまとった？
だらしねえ体のさ
欲望の塊さな
お前にどんな変化が
起きるか楽しみで
しようがねえ

ほしかったんだろ？
デモンズソウルがよ



いやだ!
デーモンなんかになりたくない!!

私はもう
そんなものほしくもないのだ!!
ああ だれか...だれかあ!

!!!
...マルコ...?
マルコ

...助けて!!お願いだ...!!

私はこんな物 望んで いない

お願いだ!マルコ
助けて マルコオ

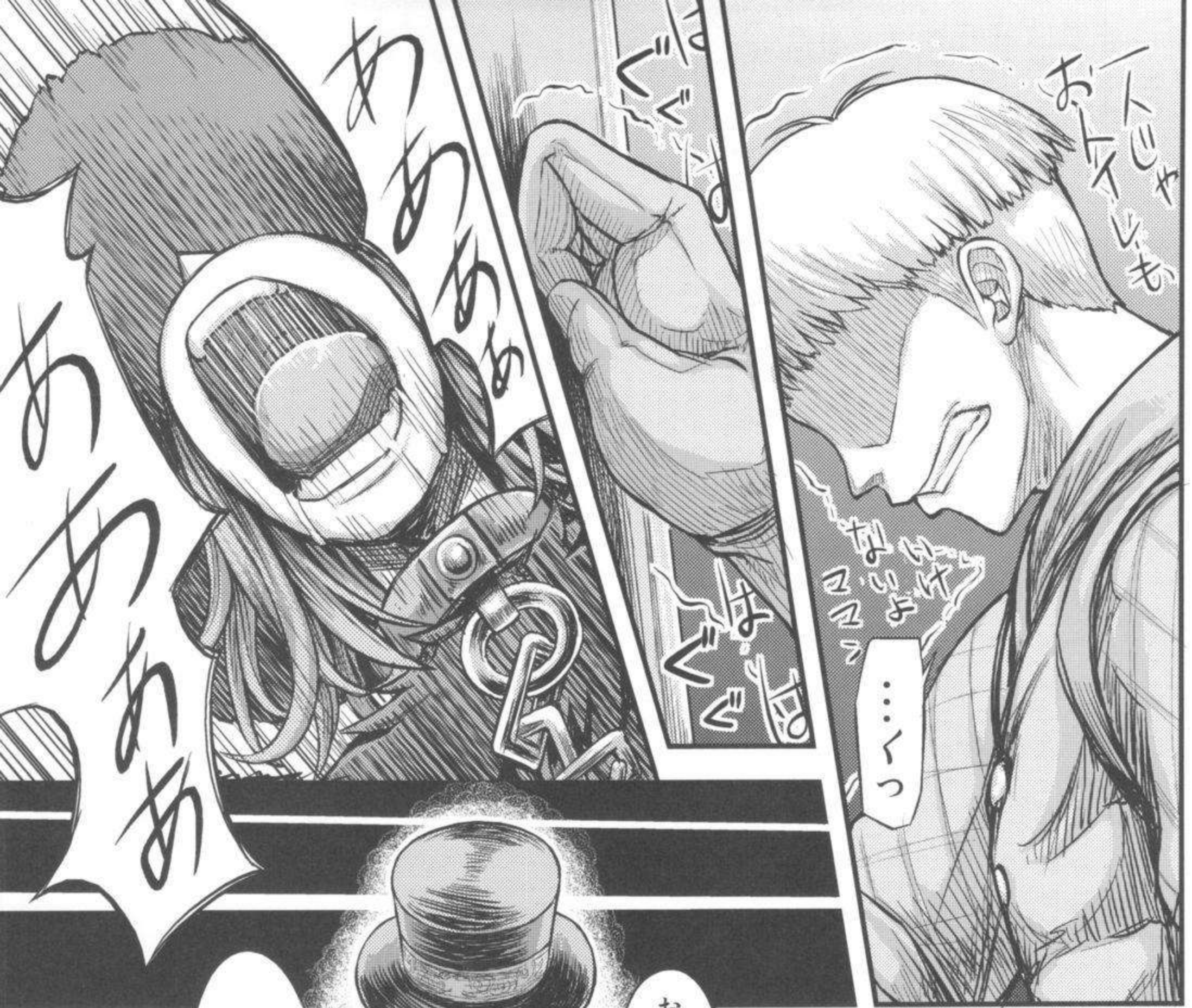
まるこおおお!!

あ... ああ...

あが...

腰抜け貴族様には
何も出来ねえよ

あいつ俺らを
顎で使ってたからな



初めまして
美人さん

こんな物騒な所で
誰をお待ちですか

ははは
なんてね冗談
怖くないよ

君を助ける
来たんだ



ふえ？

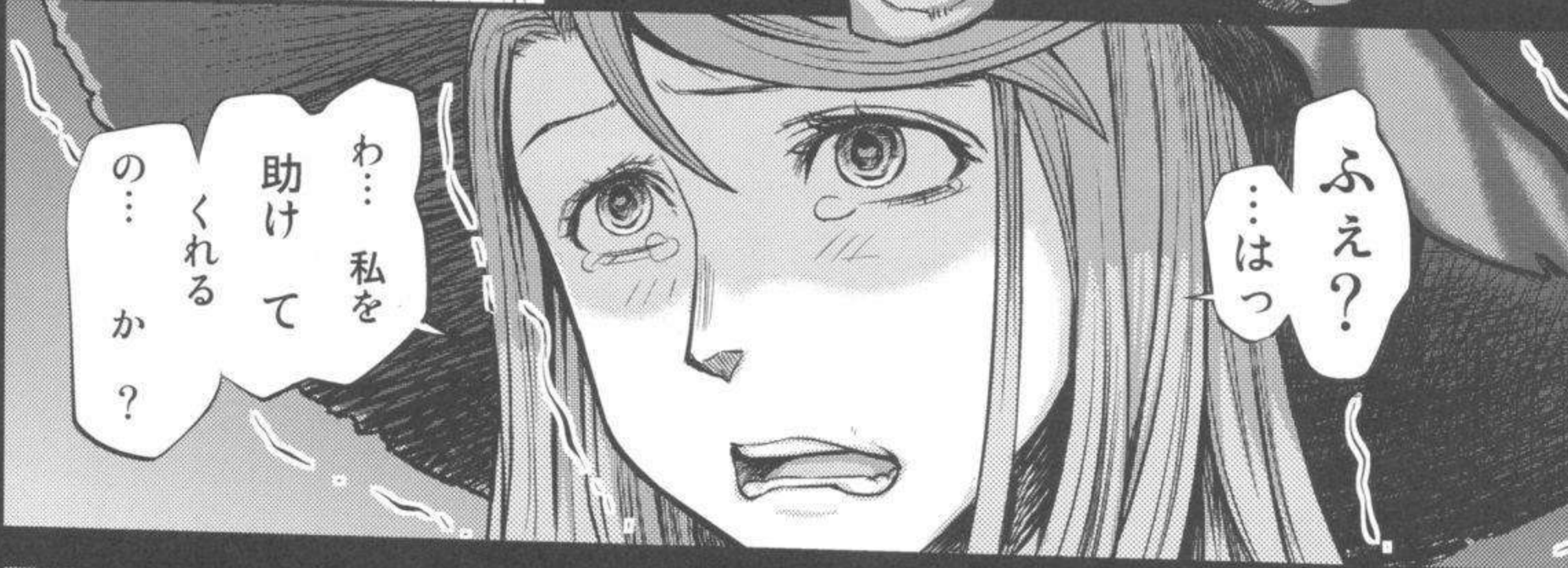
…はっ

わ…私を

助けて

くれる

の…か？



すすまない…
てつきり奴らの
仲間だと…

恩人に
対してに
この無礼
許してくれ

ははは
構わないさ

それだけ公使に
怯えたのさ
君は頑張った

希望を持って
苦しいだけさ

遅れたけど
僕はマルコ
デーモンを
滅ぼすため
この地へ
導かれた



私は ユーリア
デモンズソウルを求め
この地へ自ら来た 魔女だ

だがこの通りだ
自身の驕りが招いたこと
もう 何もかもが空しい

ははっ
安心して
君はもう何も
しないでいい

この世界は
僕が仲間と
取り戻す

さあ帰ろう
温かいスープを
ご馳走するよ

歩けないなんて言っても
抱えて帰るからね

お姫様

あ……う
マル……

ソウル

ここに来て大分経つ…

あの儀式の後すぐに私は
この暗い独房へ連れ込まれた。

はあ

はあ

塔のラトリア

そこにはすでに女が一人。

はあ

はあ

断罪者ミラルダ

いい声で鳴く女、
彼らのこだわりは
この女の美声にあり
ずいぶんどお気に入り
だったようだ

王に仕える
この処刑者の女に
私は捉えられ監禁された

パル

パル

パル

もはや身体の隅々まで
男たちに弄られ
既に人では
ないようであった

そんな彼女も次の獲物が来たことで役目を負え、別の個室へ移された。

亡者達が一室に集められた小部屋。

ここでミラルダは生涯を終えるのだ。

ふふっいいい気味だ

はあ

はあ

ズ
ポ



そして次は私だ。
男共の精子便所の役目を
果たした後、あのように
捨てられるのだろう…



キンピカ野郎の
デモンズソウルは
当たりだったぜ

良い肉付きに
なってきたか
じゃねーか



肉体の変化は
デーモン化の証

食べ 飲め
そして欲望に
忠実になれ

快楽を
身体と脳に
染み込ませ
るんだ

はっ

はー

そして俺の
最高の肉壺として
生まれ変わんだよ

はあ

はあ

はあ



親衛を連れるこの娘 乙女アストラエア。
薄汚れたその身からは血生臭い匂いがする。

閉じ込められて暫く経つ頃
女がまた運ばこまれて来た。



そいつは
出来ない
なあ

私共を
谷へ
帰して
ください

お願いです

うう…

見た目とは裏腹に
まがまがしい力が彼女から発せられている。

この者はデーモンだとすぐにわかった。

ねんのため
反魔(反魔法領域)
かけとくが…

待て…
こいつは
生と死を操る
デーモン
並の女と同じ
扱いじゃ
無礼ってもんよ

なにかと
物騒な
聖女様だか
らな

舌を焼き
拳を砕け



男達は女から術を発する術を奪った。

純悪よりも残酷で無慈悲。
人の業とはデーモンのそれ(業)よりも深く浅く、広がりを持ち、
その振り幅は計り知れないものなり。
故に人は光と闇を抱え、その狭間で苦悩する。
それは世界の可能性とも言うのだろうか…。



はあーこれだぜ
きつきのまんこ
あれだけべつとり
濡らしてやったのによ
肉壁に引っかかっちゃうが
チンコ全部飲み込んで
もらうぜ

おーぞくぞくするねえ
くくく
休憩入れる頃には
気持ちよくなってるからよ
女の幸せ
味あわせてやるぜ

あー
グ



聖女辞めて良かったら?
他人のために祈ったり
苦しんだりすることなんか
ねーんだぜ?

焼き落としたりした舌は
痛むかな? ふふ
大丈夫だ 喋れなくとも
喘ぐ事は出来る

お前はもう
俺達の物なんだからよ

デーモンだからって
おびえることはねえ
俺達平等だ
誰にも
殺させやしねえ

聖女様はウ○コ
しねえって本当か?
じゃあこの穴は
男に突っ込まれるため
にあるんだよなあ

彼等は親衛の男を座らせると、
目の前でアストラエアの身包みをはいた。
そして、私にしたように皆で親衛の男に見せつけながら
かって聖女であったデーモンを食ったのだ。



ド
コ
オオ



ひゅー
かっちえー

ちっ
黒
なり
ファ
やが
んに
が
っ
た
か



X

T

T

T

T



残念

ここ魔法効かねえんだわ



今までよく戦って
くださいました…。



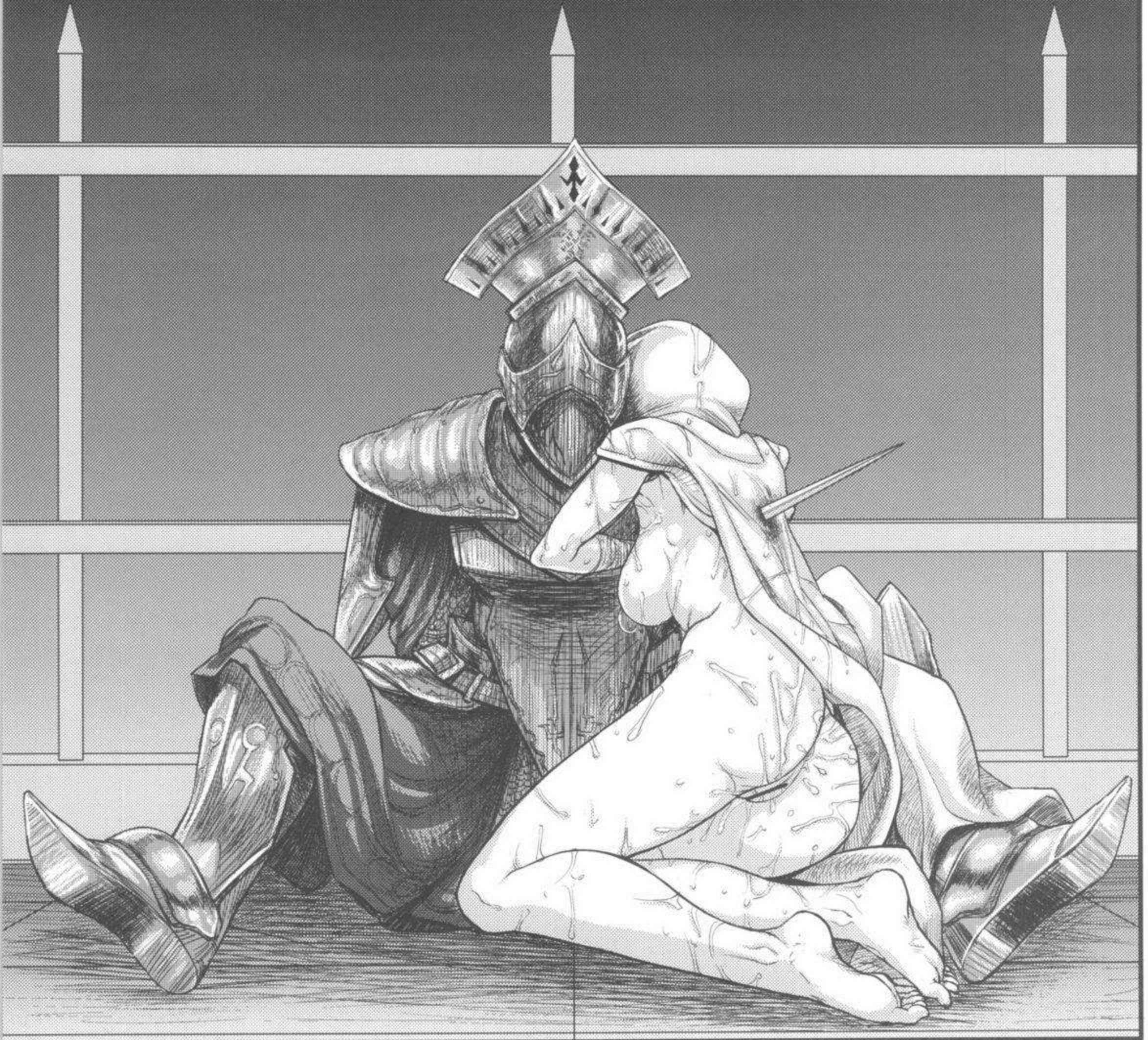
ガル…

…はあ…

は…

あばよ完全に
消滅しな
はは

ズズ



この者達は
世の成り立ちを知り
絶望したのか…

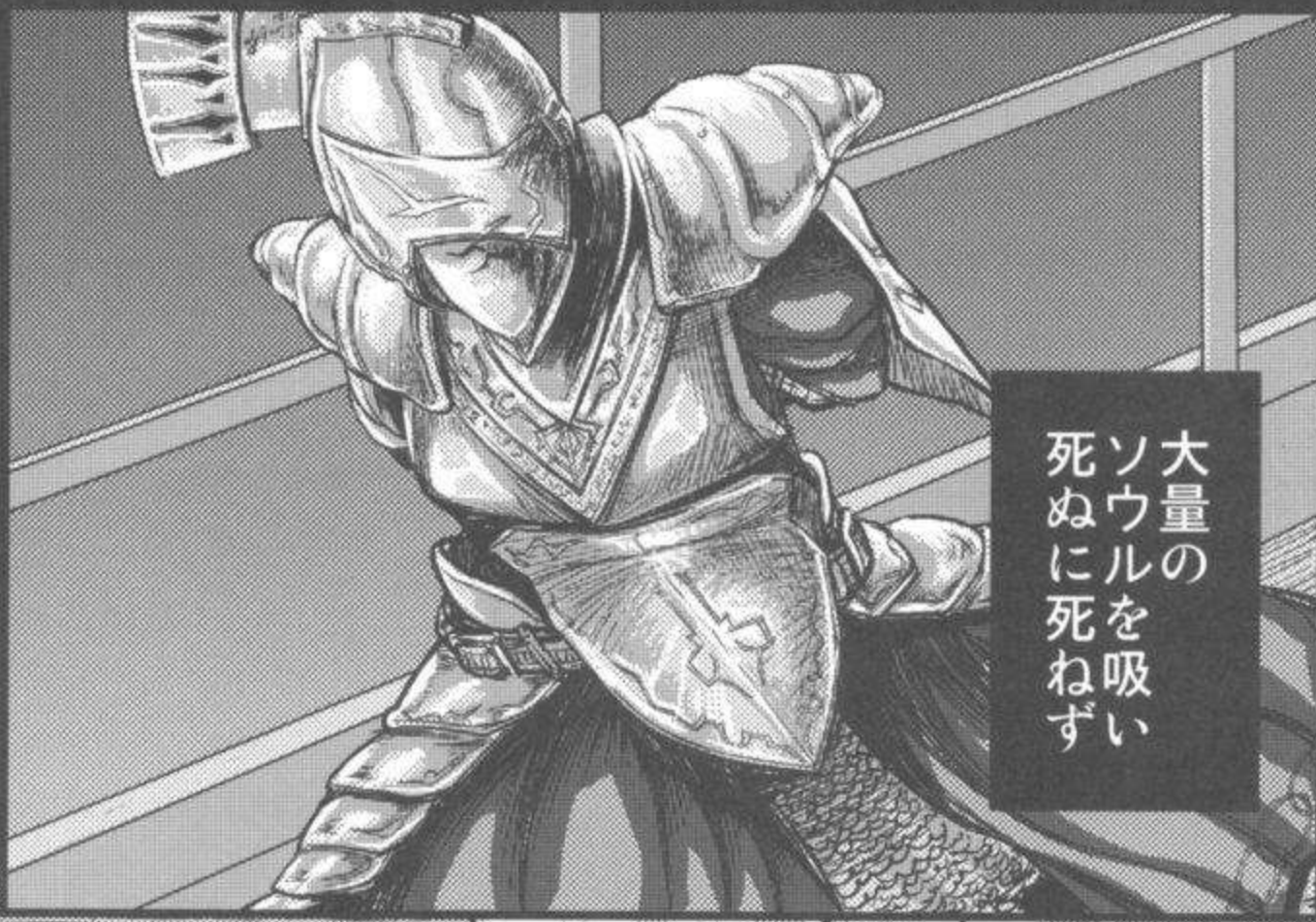


これからは
楽しいんじや
ね…



くそが

+



大量の
ソウルを吸い
死ぬに死ねず

失うことの
始まりを恐れ
神殿の呪いから
逃れようとも
しない…



あは♡

うふふふ…

滑稽滑稽 みればみるほど
なんとも小さき人間共よ…

クス

クス

クス

いいよ…なつてやる…

私がお前達クズの掃き溜め
『肉欲のデーモン』にな…

楔の神殿

ユーリア

どうだろ？
綺麗だろ？



お前の好きな
キンピカだ

審判者のデブのものに
似せて作らせた

きんぴか

これが私か

ふふ

美しい…
お前達の淫らなる欲を
受け止めるこの
我が身に相応しい

お前の淫らなる欲を
受け止めるこの
我が身に相応しい

任せてみれば
身体全身が女で
あることに
喜び震えている…

お前のその姿
皆に見せ付けてやるか

くくく

ふん

…いい



おいじじい
例のもの出来てん
だるうな

……ふん



トニ
ビロ
ン

た
ら
ん



これ……
は……



ちん
ゴ
ー



あ
や
なんすな……



こんな姿に
変えられた私を見ても
同情の顔すらうかべない
もはや誰も人とは思
って無いのだろう……

いや 変わらないな
見る角度が少し
ずれただけのこと



私は今も昔も
忌み嫌われる
存在なのだ

トマス



ふふふっ
無駄だ

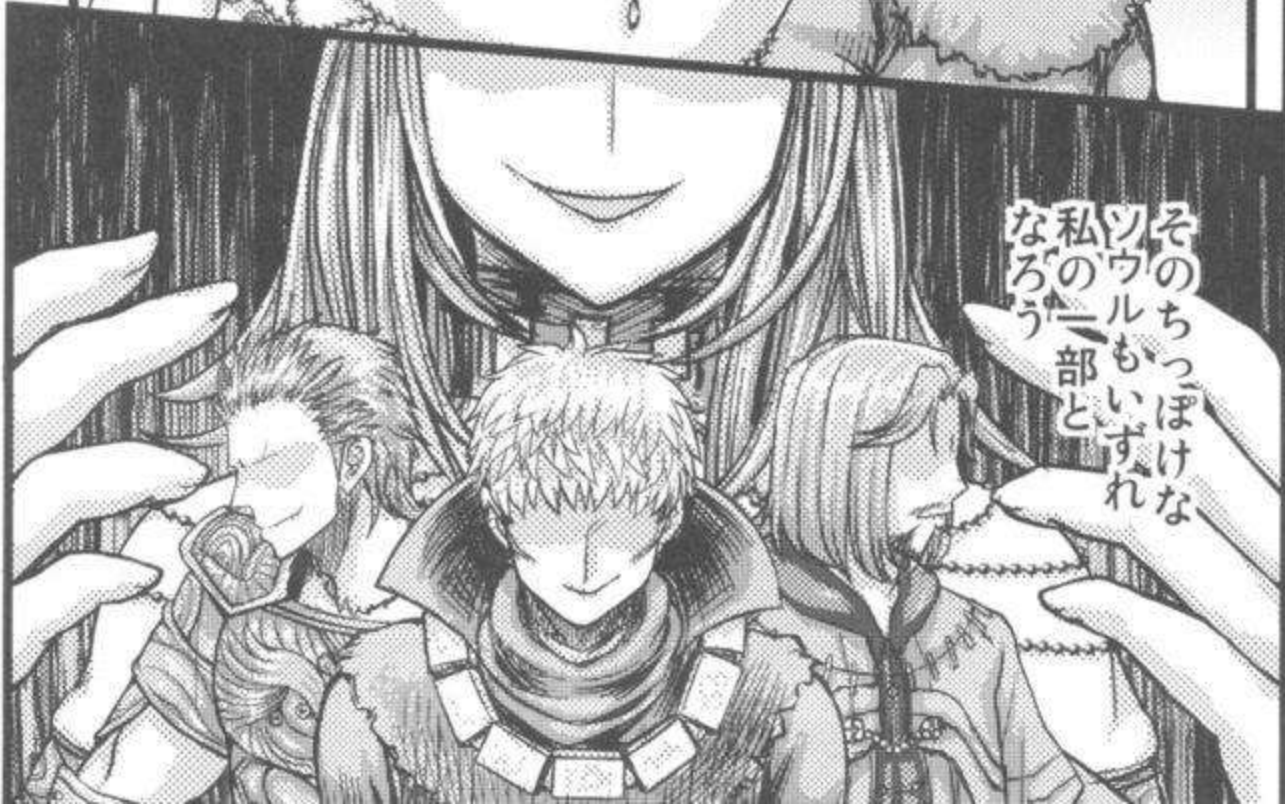
デーモンとなった私を
殺したいのだから？

デビルマン



火防女

新しい冒険者を
楔で繋ぎ
私を殺しにくるか？



そのちっぽけな
ツウルもいずれ
私の一部とな
るう



ユーリア
お前も精吸(精子吸引)
緩めてやれ

盾くらいにはと
思ったがよ
もうこいつら
骨抜きで使いもん
なんねーぞ？

ま 待て、良いんだ。
おもいきり吸ってくれ！

このために俺は
狩りしてんだ！

ずっほ

ぬっほ

ぬっほ

ずっほん



ユーリアに
俺の全てを捧げるぜ

全て搾り取って
昇天させてくれえ！

ズッぽん！！



か

最...うっ...

く



ダメだこいつら

しよ 昇天...♡

のほ

おおおお♡
げげ
...おお♡



キュン♡





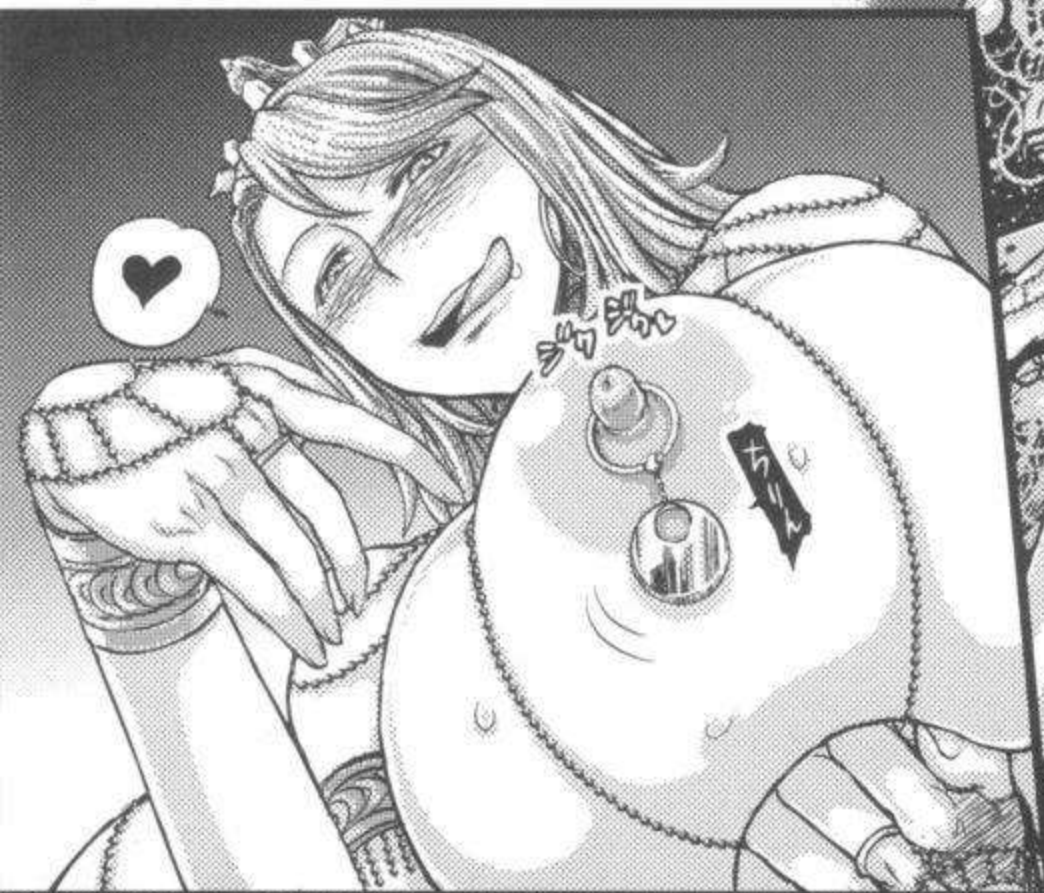
ん

付けとけ

はい 我が主

うっかり揉んで指でも入っちゃったらそこから吸魂もされちゃうからな

おっかねえ乳だな



♡



それはまだ出来ません私の心を支配した者だけに呼びましょう：v



ふん 加減と呼べ 主人様



男の精子を
全身で吸い
魂をも吸収する
デーモン

くくくつ
強え女だ
流石魔女だ
だけはあるぜ



お前をこの
どすけべデーモンに
仕立てたのは俺だぜ？



ちゅあ

キム





今日はお前を
使い倒してやる

精吸はまだお預けだ

クククッ
ザーメン飲みてえん
だろうが

お前の身体から
俺の臭いしか
しなくなるまで
徹底的にな

はあ...♡

ねと〜

!

ちゅ〜♡

ちゅ〜♡

おつと
あぶない
あぶない♪

ハッ

ハッ

ヒッ

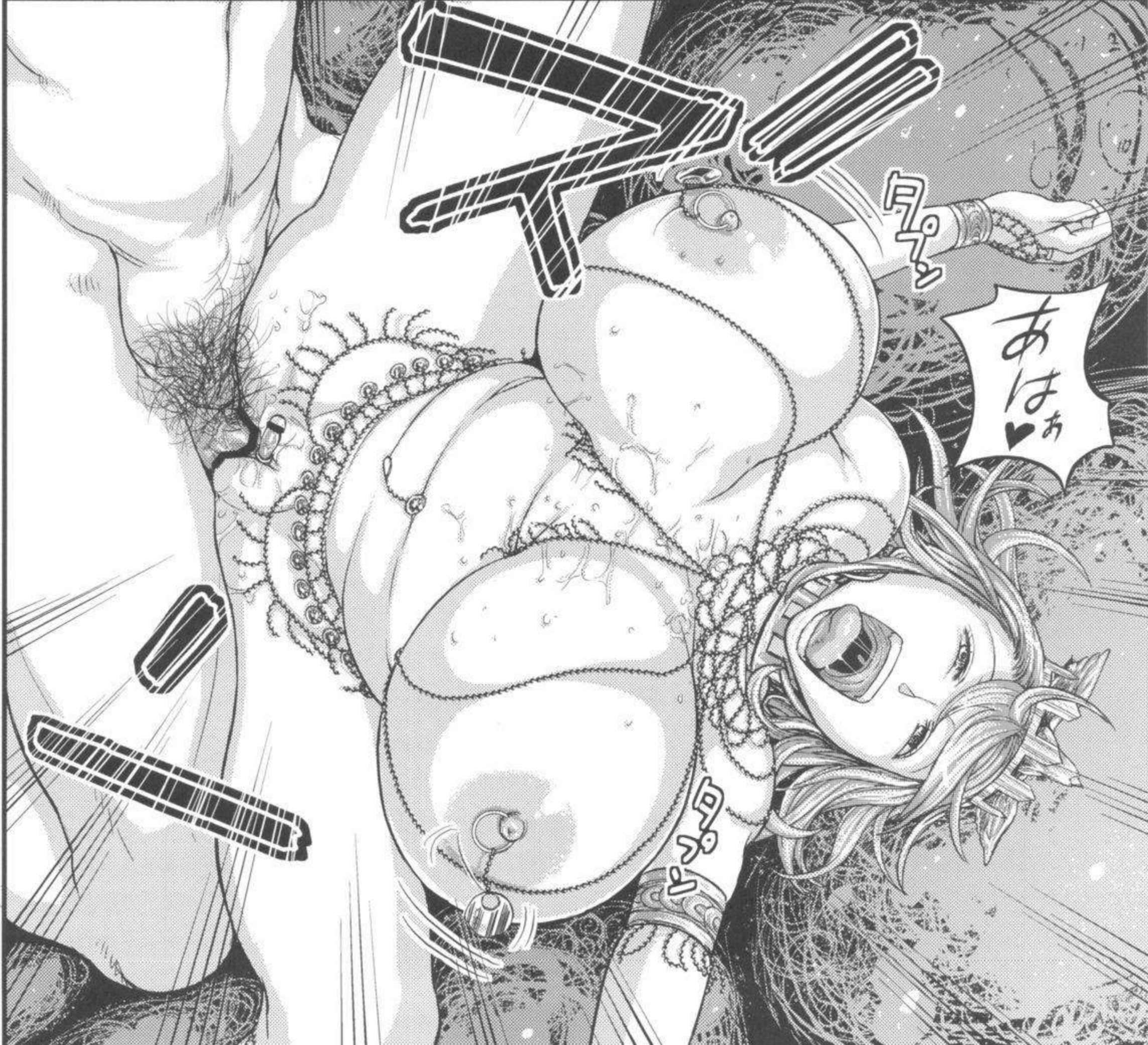
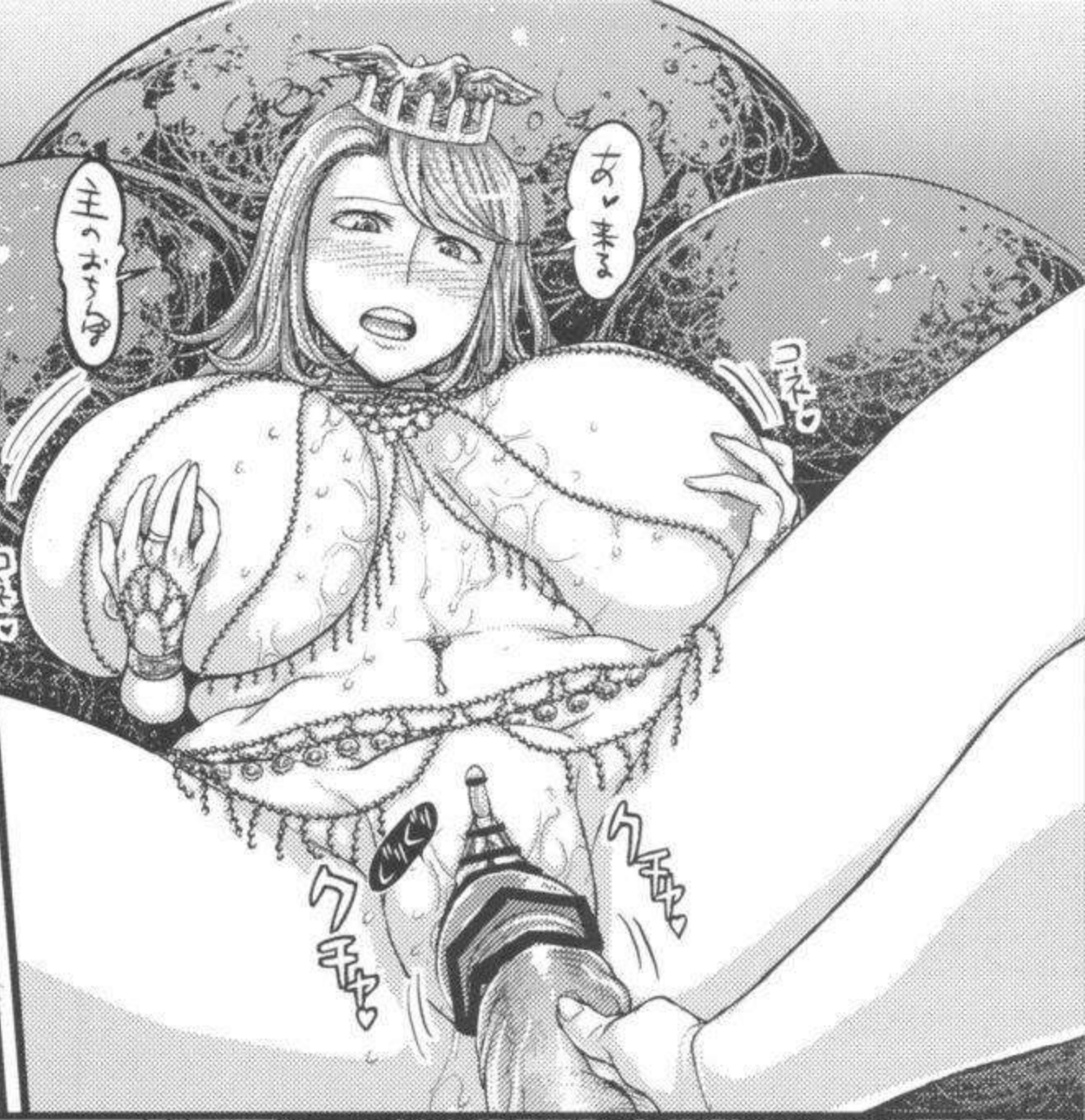
ヒッ

クキョ

クキョ

ちゅ〜

クククッ





はっはあ

自ら腰振ってよ
くくっ
やっぱ俺のは
気持ち良いだろ

あ
あ

はっはあ

はっはあ

はっはあ

はっはあ

はっはあ

はっはあ

はっはあ



初めて犯して
やった時とは
嘘見てえに別人だな
俺はこういいう女が
ほしかつたんだ

ガリガリで
チンコ入れても
中が薄くてあんまり
気持ちよくなかったから
力任せにこすり付けて
やってたな

はっはあ

はっはあ

はっはあ

はっはあ

はっはあ

はっはあ

はっはあ

早い話女の色気が
まったく無かったな
せっかく美人に
生まれてきたのによ
魔女なんて
くだらねえもんに
なりやがってよ

俺はとにかく子宮に
中だししまくったな
子宮から女に
してやるつもり
だったからな

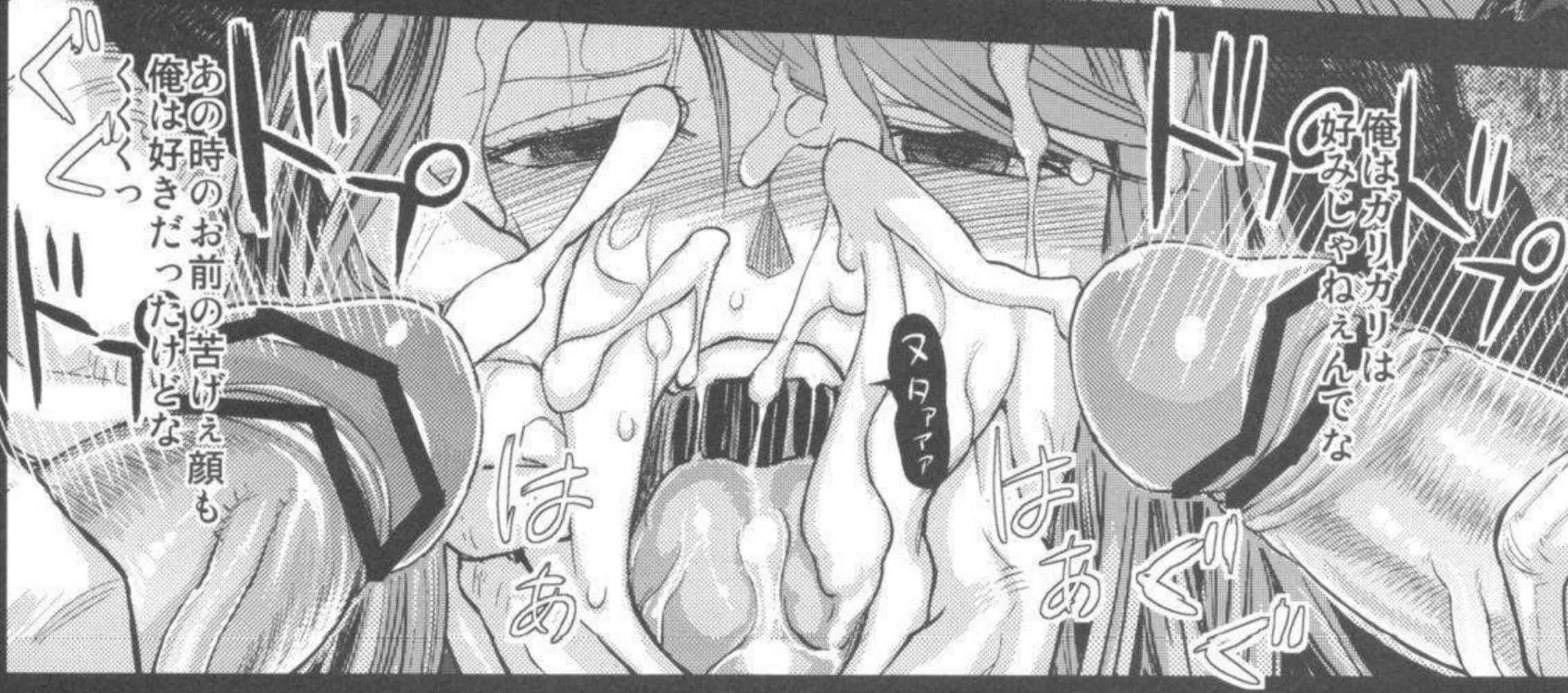


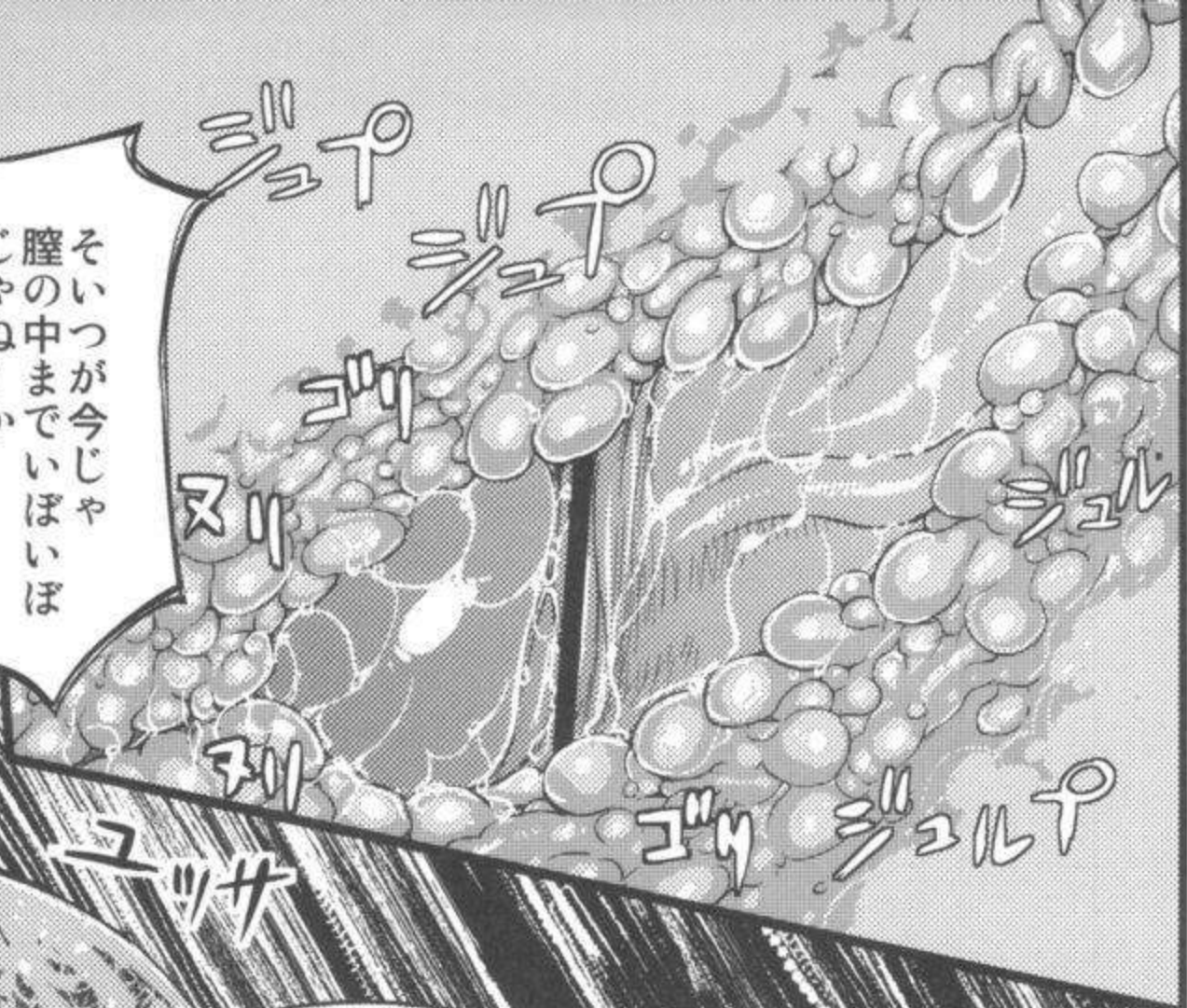
俺はガリガリは
好みじゃねえんでな

あの時のお前の苦げえ顔も
俺は好きだったけどな

はあ

はあ





そいつが今じゃ
瞳の中までいぼいぼ
くくく

男を喜ばせる
ためか？
ためか？
感じてーのか？

あん

あん

あん

淫乱とか
そういう
話じゃねえ

世の中の生き物には
役割ってもんが
あるよな？
お前の役割は
性を処理すること。
今のお前には
それっきゃねー

幸せだろ？
お前はおまんこして
時だけが役割をもてるんだ。
そーいうデーモンに
お前はなったのさ
ユーリア

もって
こす

おまんこに
ゴリゴリ
入でゴリ



覚えているか？

この帽子がお前が
なんの疑いも無く
進んできた道だ

グアア

人より秀でた才が
お前を魔女に仕立てた
しかし結果はどうだ？



デーモンに返り討ち

あ♡

ああ♡

あ♡

公使のいい玩具にされて
終わる筈だった命だ

おん

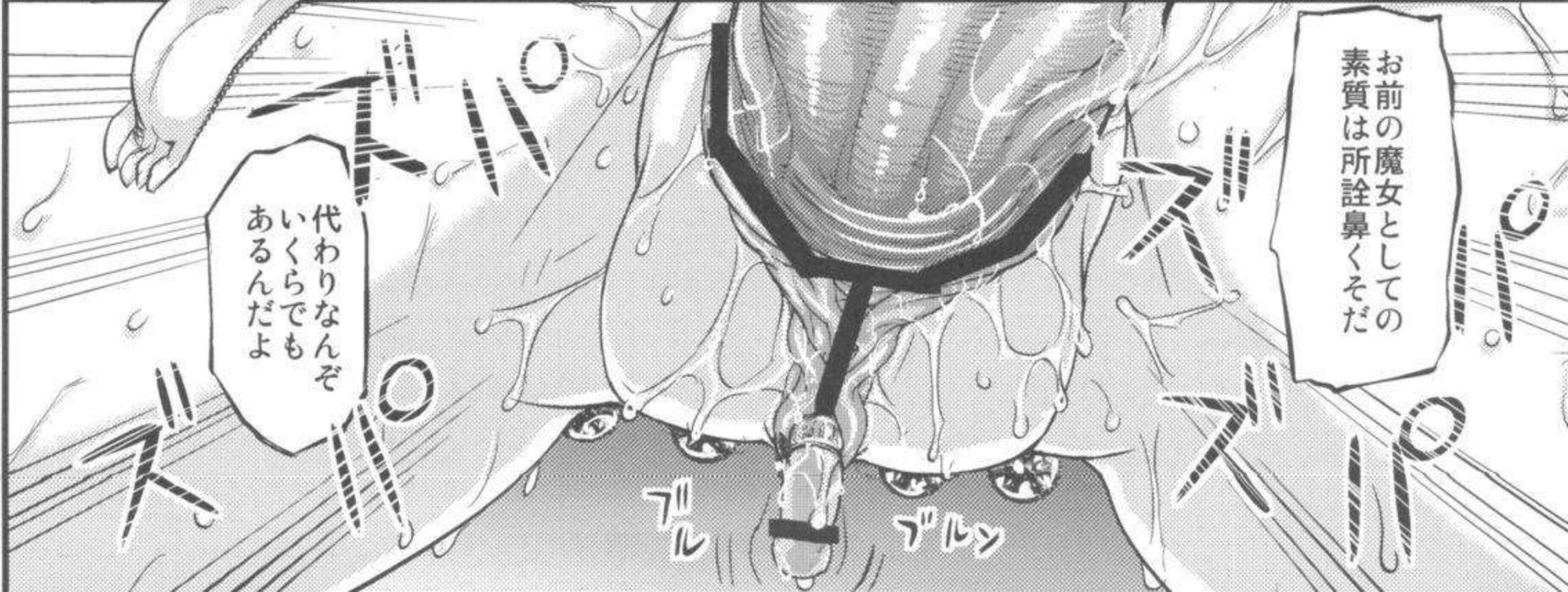
おん

おん

おん

おん

グッ グッ



お前の魔女としての
素質は所詮鼻くそだ

代わりなんぞ
いくらでも
あるんだよ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ



だが今は違う
デモンズソウルと融合し
人知を超えた力と理解を
手に入れた

生きとし
生けるものを
淫らに惑わし
頂点に立つ力だ

ブルン

あーん
あーん

あーん
あーん



もう魔女なんかじゃねえ
生まれ変わったんだ

あーん
あーん
あーん

あーん



そして俺が
この肉便器の所有者
「ご主人様」だ!

お前の名前は
肉便器デーモンユーリアなんだよ!

ズッポ

ズッポ

グッポ

ズッポ

ズッポ

ズッポ



便器 うふふ♥
私は肉壺デーモン
ユーリアです

凡才な魔女だった私は
主に造り返られ
肉欲のデーモンと
なりました♥

トロッ

じゅわぁ

ヒク

ヒク

はぁ

はぁ

ヒク



私は... ユーリアは肉壺です

肉壺

ははは ユッサ ユッサ



この身体はちんぽをはめ

性を受け止める
ただそれだけの
ための肉体



私のちんぽが
まんのこを愛撫
しています



今どういう
状態だ?



ひだがひくひくと
ちんぽを愛しくひくと
離さないように
抱きしめる

ぬるぬるの愛液を
吐いて一つに
なりたいて...
♡

イク
主のおちんぽで
イキます♡♡♡

はん♡
良いです
主の
おちんぽ♡♡



獲物を
がちり捕らえ
精吸
吸魂

甘い蜜を
知った生き物は
逃れられず
自ら栄養を送り
消滅か



この身体 生物を
惑わすための肉を
それは餌だ

一度秘肉に触れば
捕らえられたも同然



くくくっ
また持っていかれたな



指輪を加工した
3つのリングが
果て無いスタミナ
を後押ししてやがる

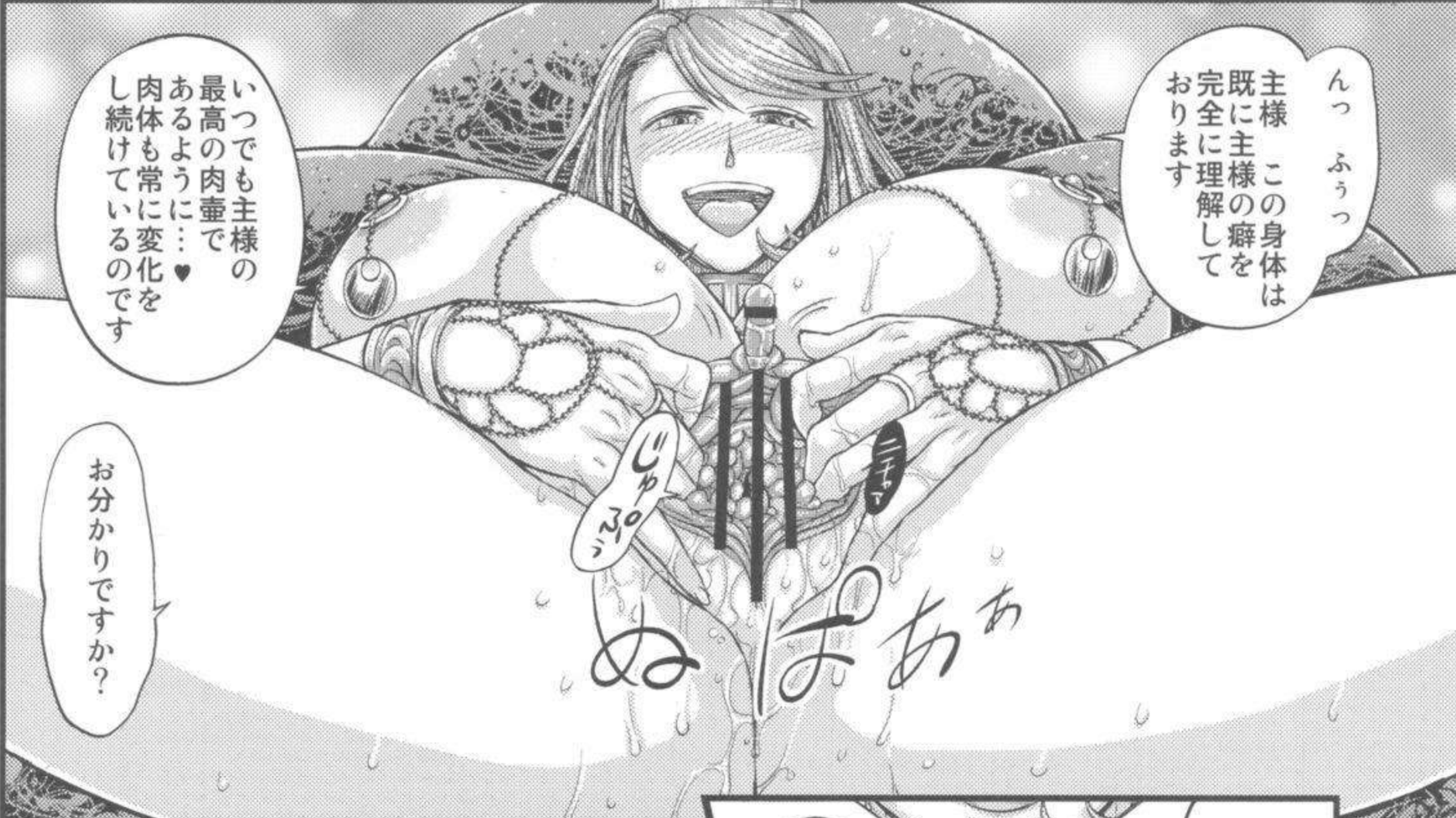
こええなあ



精吸マジ
きついわ
俺が指環
つければ
よかつたん
じゃね?

いやこいつは
これでいいんだ

ユーリアが俺の
最高傑作に
なるためによ



んっ ふうっ
主様 この身体は
既に主様の癖を
完全に理解して
おります

いつでも主様の
最高の肉壺で
あるように♡
肉体も常に変化を
し続けているのです

お分かりですか?



主様は
まだ私を
求めています
♡
うふふ

我慢は
体の毒ですよ

全てを忘れて
私を貪りなさい

私はそのため
生まれたのだから

はあ♡

はあ♡

はあ♡

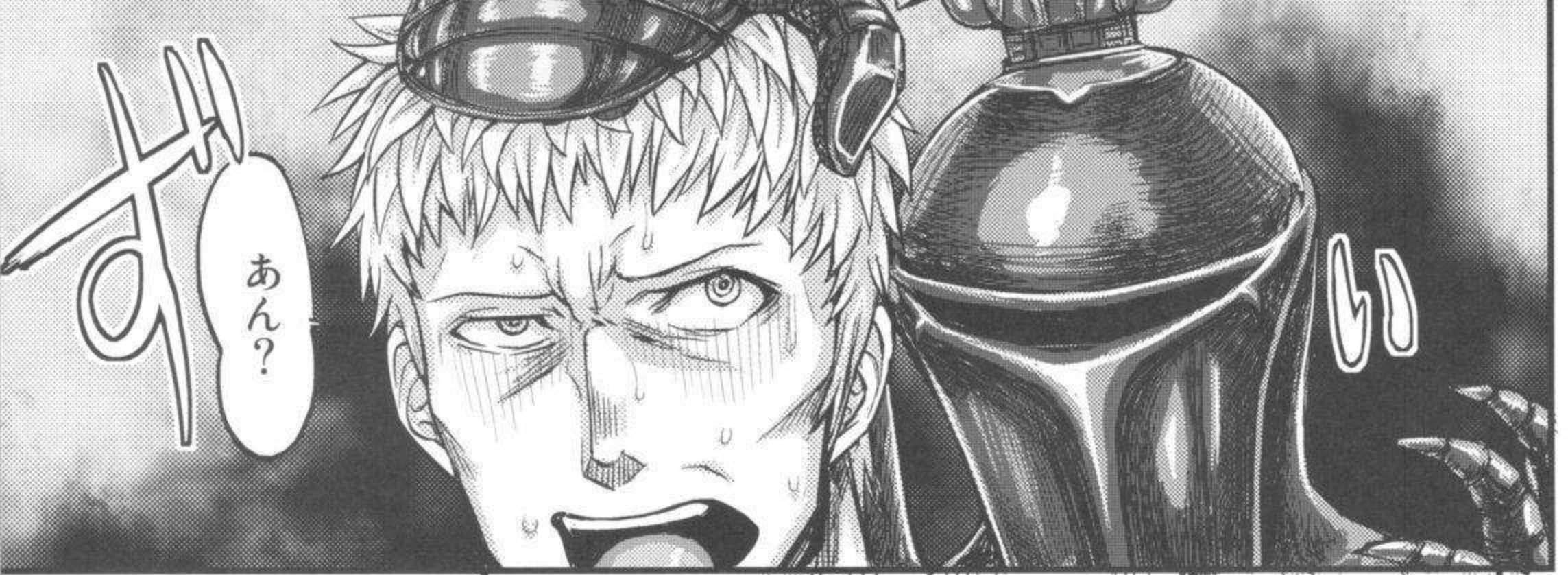




まだまだ遊び足りねえよな！
こいつは俺の肉便器だからよお



ほら外に射精したせ
俺は捕食されるほんくら共と
違う……！



あん？



うおおおおい
またてめえそれを
げぼおお

こいつは…
ぐああああ
あああああ

何だてめ
げ！！
ええええ



だな

吸魂か！？

※[吸魂]触れた相手からソウルを吸いとる魔法



ぐええええ
えええええええ

卑怯だろお？

こんな糞ハメでてめえ
ややるなら正々
堂々勝負しろ！



離せやこら
そう何度も出せる
技じゃねーだろーが



ふげえええ

や...やめ...



生身だろ...死にはしないさ...

ただおまえ自身のソウルが
空っぽになるだけだ...



吸魂ハメはねーよ!
離せ卑怯者!!

まて
一人でハメを:
こいつ手練だぞ



な...に...

!!

み.....ぬう



お前もすぐ返してやる…

慌てるな

ブワアアアアア

トッサ…



くそう
ソウルが
足りねえ

なあ おいユーリア
俺を助けるお…
俺はお前の主だぞ

ユーリア

ちぎじよおお
死にたくねえげ



げひっ

ユーリ…
アギギ



…ゼロ

ズッ
ホッ
ホッ
ホッ

ひひいーっ

あばばばーっ

ゲヒヒイー
ギギッ



負けだ
くそ



来たか



くそ



殺しやすかったら？
以前はあれほど弱くは
なかったのだがなあ…

わが身を守る僕から
私も魂を
吸いすぎたようだ

さあ
デーモンを殺すもの…

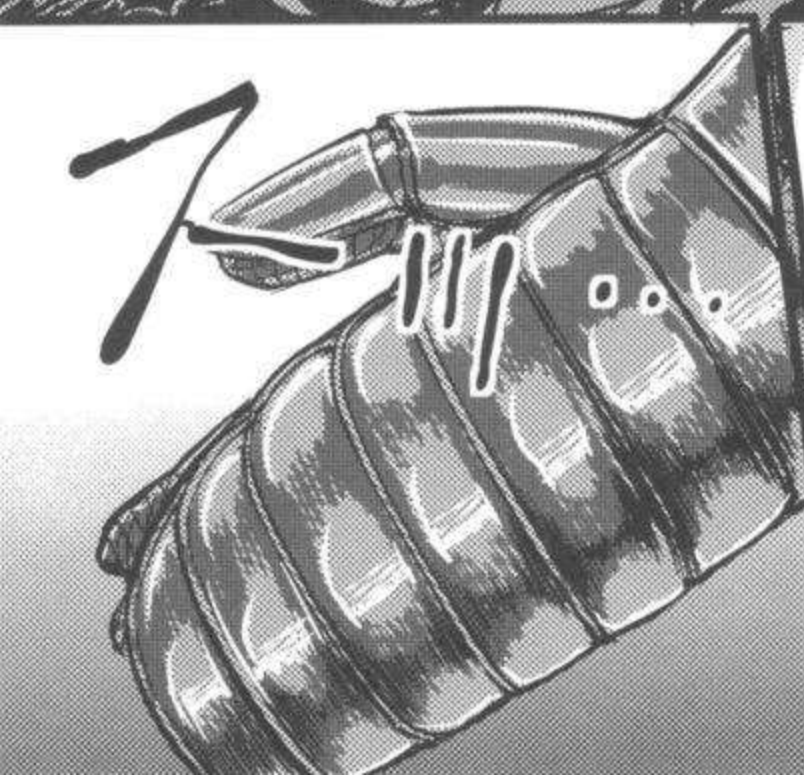
殺すがいい…



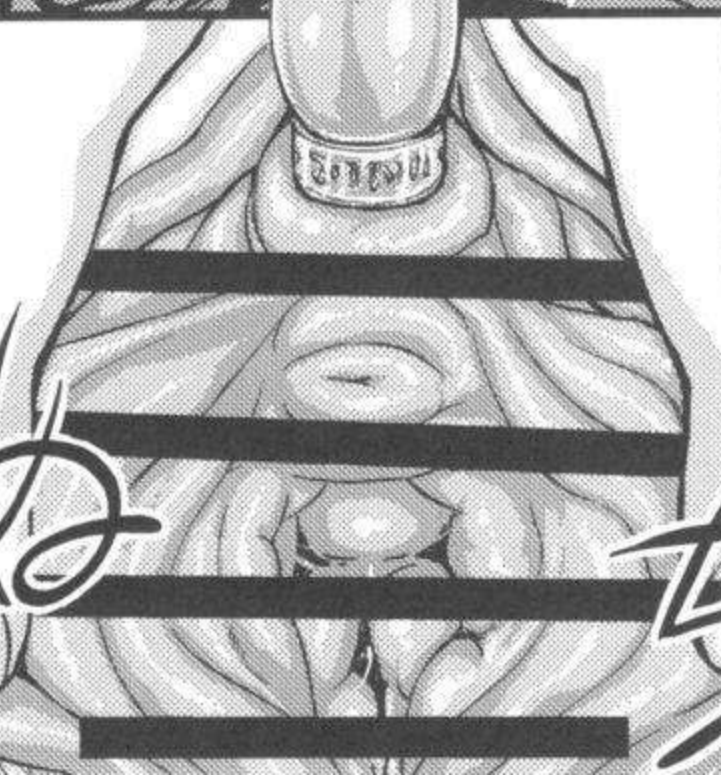
私にはお前を殺す力は無い

あるのはこの身体のみ…
私の司るは淫欲

ㄱ
ㄱ



ふふっ♡
この世のものとは
思えない快樂のみ
約束するが…♡



このデーモンの穴の
奥深くで果てた先には
天国か地獄か…
堪能してから
殺してもいいだろう

ちやあ



…遅くなった。



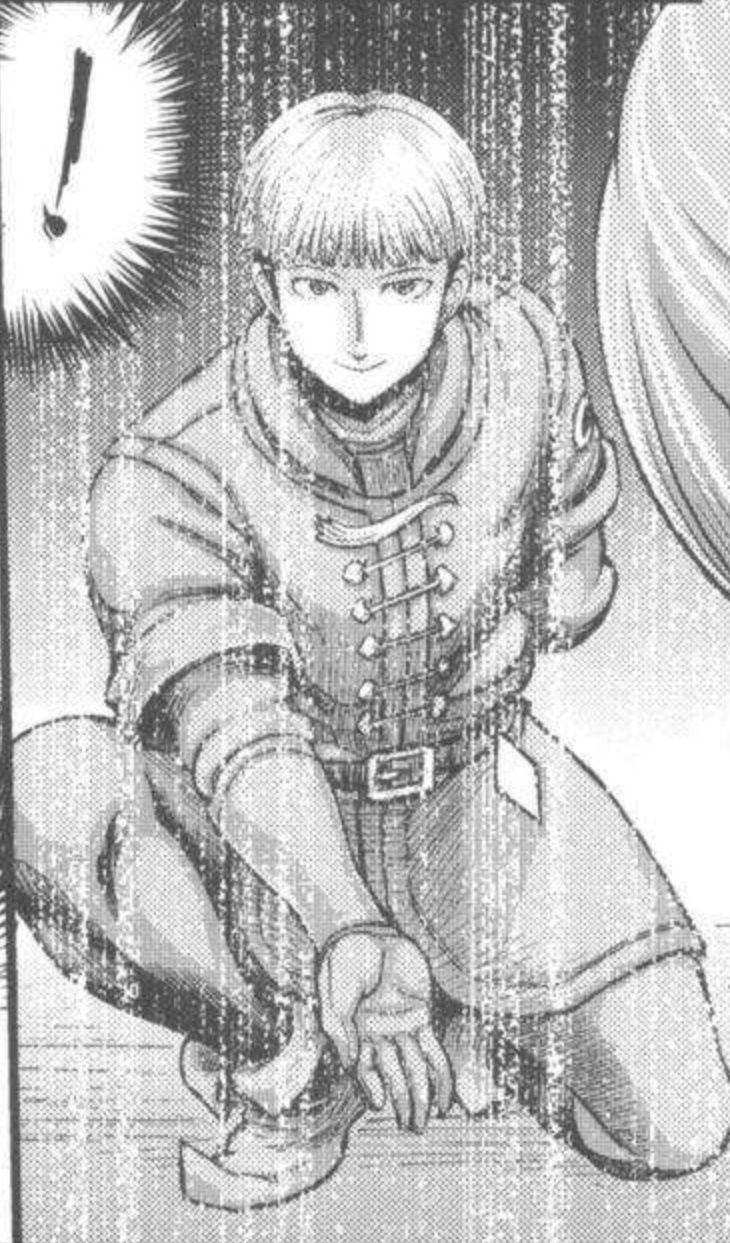
なん…だ…



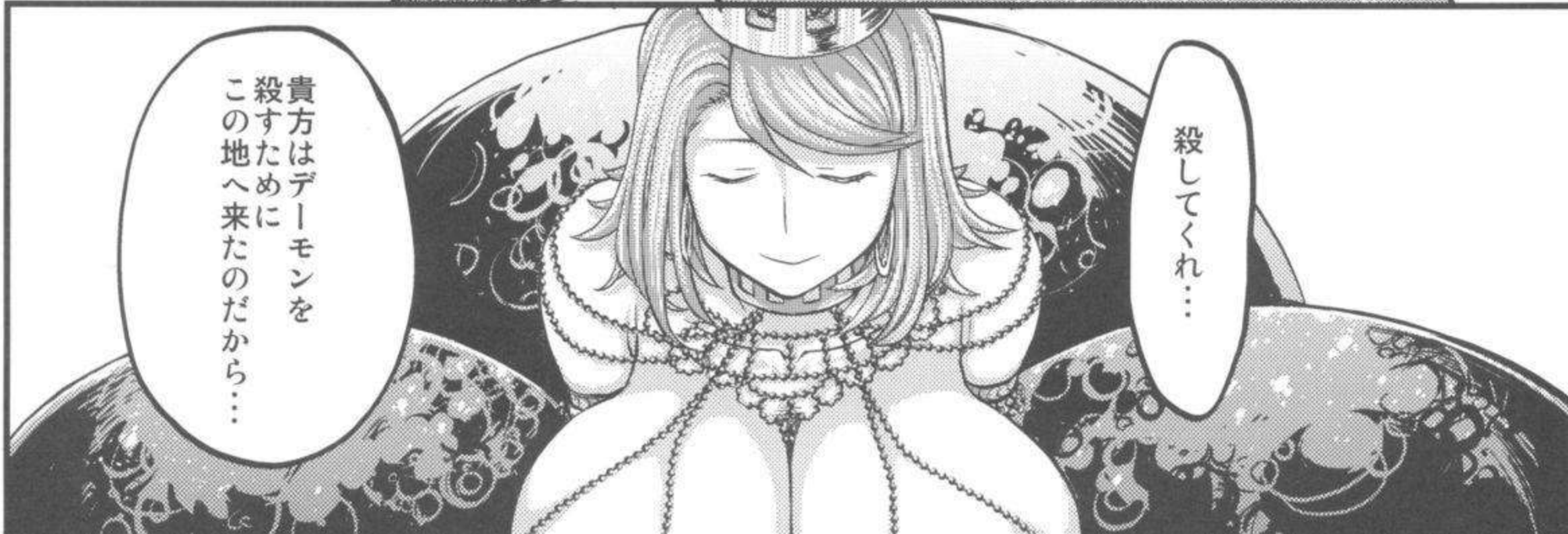
!!



マル…



この者…どこかで…



貴方はデーモンを
殺すために
この地へ来たのだから…

殺してくれ…



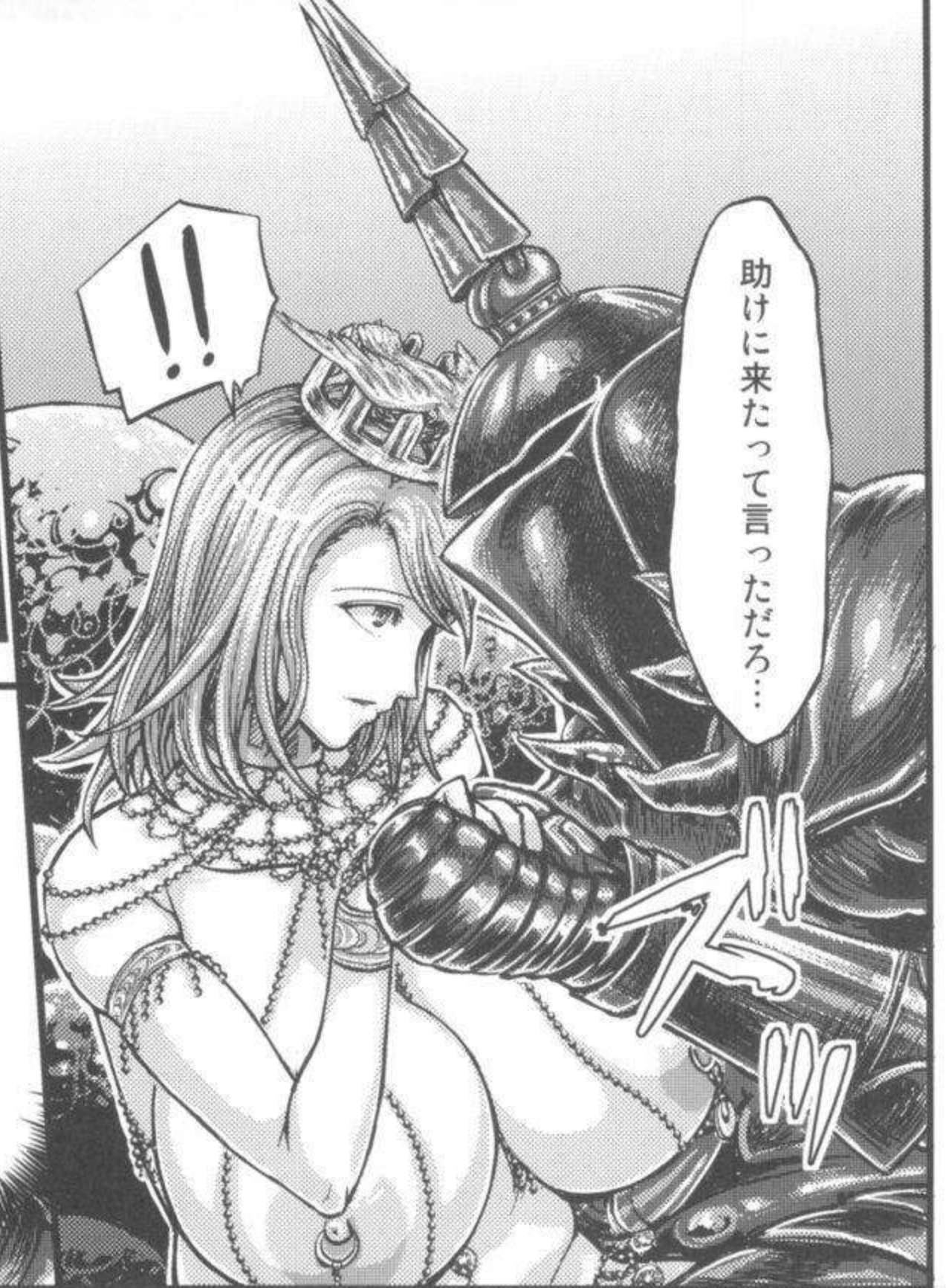
なんと
冷たいソウル

マルコ…
貴方は…



ずっと…私を助けるために…

こんなになってまで…
そうか…



助けに来たって言っただろ…

!!



ありがとう
でも良いんだ…

デーモンと融合したこの身
既に何者だったのか
分からないのだ…

だが一つ言える事はある
私が死なねば
世界は救われない…

火防女は刺客を
送り続け それを
永延に終わら
ないのであろう…

私はここで
貴方に殺される事を
望んでい…る…

死なせはしない
守り抜いてみせる



いいのか…

おれ



俺と一緒に世界を共に…



仲間などいらなかった…
絶対的強さがあれば
なんでも手に入るんだ

私は貴方と共に
生きる道を選んでも…

いいのだな…それで…



ユーリア。
お前は俺の
所有物になる





来い
行かないと言っても
連れて行く

お前は
俺のものだ

マルコ……様……?

マルコ

ん



……はい♡♡♡……ご主人様♡♡♡

ほ♡

ほ♡

ユーリアは
貴方様の
モノです……♡♡♡

ほ♡

アキ

アキ

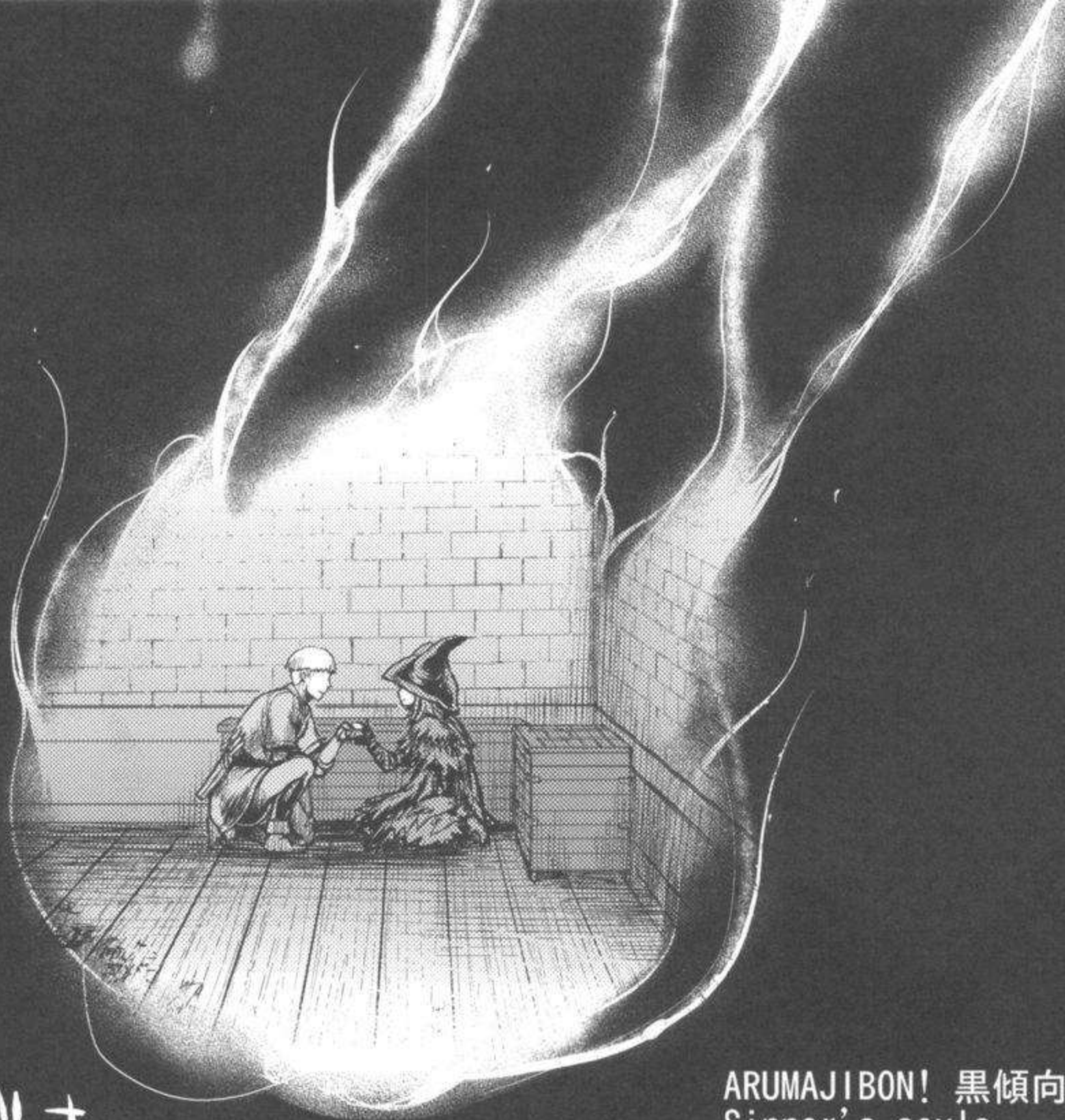
アキ



私はいずれ
デーモンに飲まれる
だろう。

だがこの男が
私を求める限り
デーモンではなく
一人の人間として
側にいたい。

今はそう思ったんだ。



あとがき

ARUMAJIBON! 黒傾向
Sinner's souls
Chain of the wedge

前回かぼたん本の「白傾向」から大分経っての「黒傾向」となってしまいました。
この本は私にとって大事な本となりました。いつも悩みまくって描いていますが
今回は輪をかけて考えさせられた本です。今回で得た私、まじろーの考えがまた次回に
引き継がれていきます。また次回、読みたいと思っていただけたのならこれ幸いです。

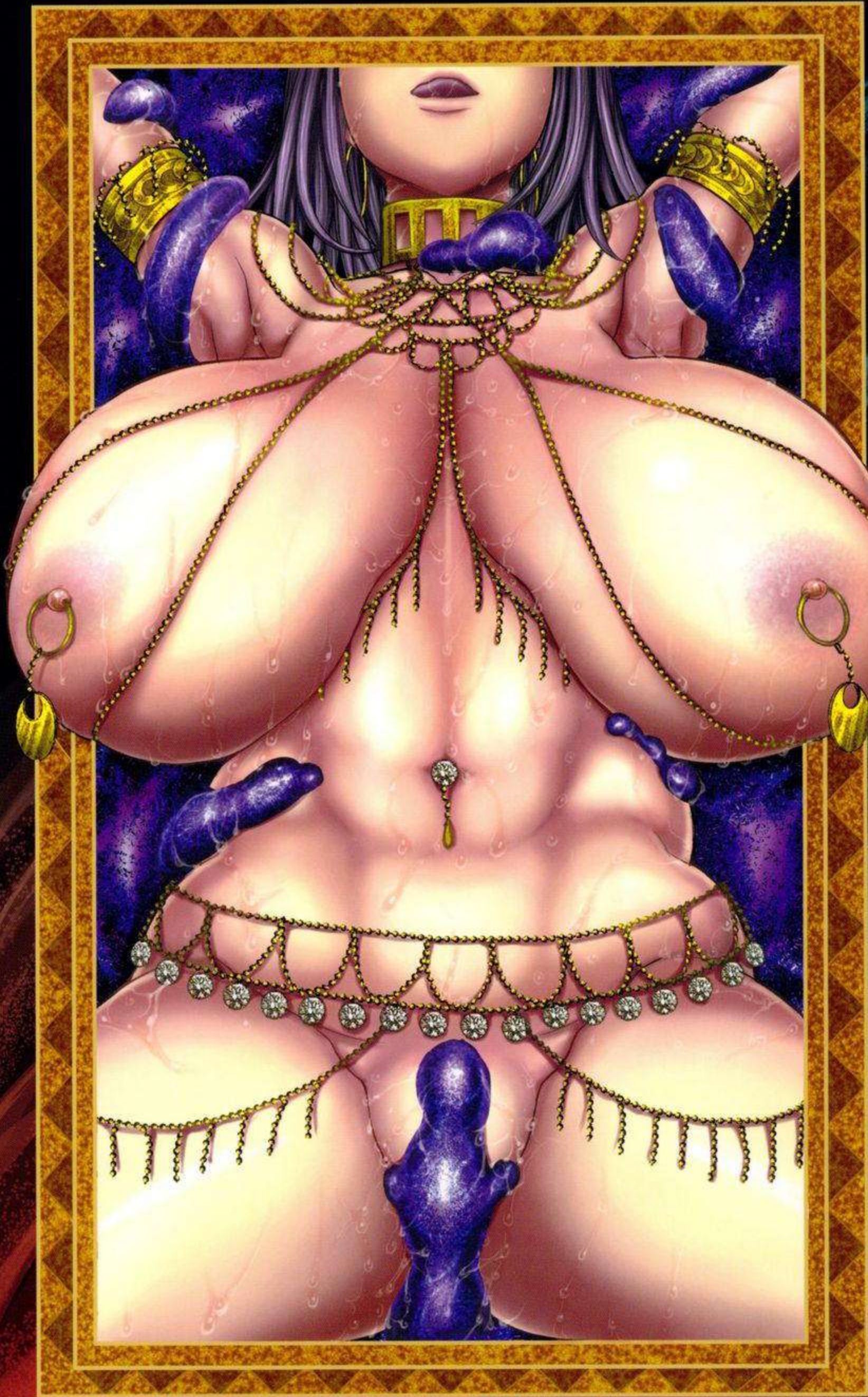
で…ユーリアさんかわいかったああ!!(笑)いきなりすみませんw
白とは違い、黒は世界観を使わせていただいたまったくの自分の妄描きですw
そのせいでこれはダメだった人も多んじゃないかなあと思ったり;;
性癖って皆さん違いますからね;私のように雑食の方ってあんまりいないというのも
よく知っているのですが私が好きなことしか持続できなく(´∞´;)てへっ
ところで話の中で描ききれなかったのがユーリアさんの体つきの変化!
ちょっと補足で説明させていただきます(´∞´;)

スペシャルサンクス/黒ねずみ君 いつもありがとうー!

奥付

発行日/2013/1/12
発行/まるまるアルマジロー
発行人/まじろー
印刷/コーシン出版様
無断転載・18未満の方のご購読はご遠慮ください!
ルールが守られないと
我々は消されてしまいますのです(´∞´;)
pixivid=13194
HP(検索は「まるまるアルマジロー」で!)
まるまるアルマジローの告知板
<http://rinrin.saiin.net/~arumajiro/index.htm>

欲のデモンズソウルを
身体に埋め込まれてから暫く
様々な欲の渦に飲まれはつきりと
定まらなかったのですが
赤ファン君の手により欲を強引に
引き出されていきます。その中で
得た一番強い欲が「快樂」でした。
ユーリアは快樂を餌にするデーモンに
なることにデモンズソウルに委ね
身体と心はその形に定まっています。
本文でうまく説明できませんでした;
他に分かりずらいところあるのですが
あとは想像でお願いしますw
想像することは大事なのよ!w
ではまたどこかで!(´∞´)ノシノシ



豊満
化

ピア
ス

コス
プレ

ストーリー
重視率
50%

肉體
改造

成人向

Sinner's souls

Chain of the wedge

黒傾向

ARUMA JIBON!!

まるまるアルマジロ